

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	くればす（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和8年1月21日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12人	(回答者数) 5人
○従業者評価実施期間	令和8年1月21日		～ 令和8年1月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解を行っている	親子療育の中で振り返りの時間を確実に設け、発達過程や姿理解等の情報共有を図っている。 親子デイを毎月1週目に設け、保護者の方が参加しやすい/分かりやすい環境調整を行っている。 親子療育の参加が難しい場合には、連絡帳や電話、SNS等を利用する中で情報共有を深めている。	SNS等の機能を追加し、保護者の方との連携を深めていく。
2	保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援の実施	グループでの親子活動を年2回、全体での親子活動を年1回 毎月親子デイを設け、保護者同士の交流の機会作りを実施している。また、保護者同士で茶話会を行う会の創設と実施を行った。	母親のみの参加が多い為、父親も参加しやすい座談会の設定を行う（開催時間等も配慮する）。
3	自然豊かな地域の資源を活用した活動の実施	季節に応じた、その時期にしか出来ない活動プログラムを計画 立てている（季節に応じた活動、四季に応じたクッキングや製作等） 社会資源として、近隣の公園や商業施設、施設内の中庭やホールの利用。	図時、職員間で地域資源の活用についての検討を実施する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定期的な避難、救出その他必要な訓練の実施	施設内の避難訓練は月に一度行っているが、保護者の方への情報発信等を行っていない。	保護者の方へ情報発信の仕方の検討、体系だった計画の作成と実施を行う。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会の提供	地域資源（公園や直売所、商店）を利用した活動の組み立ては 行っており、地域の方との交流の機会はあるが、ほとんどの児童が保育所や幼稚園と併用している為に、地域の他の子どもと	保育所や幼稚園との連携を更に深め、交流の機会を計画立てて設けていく。
3			